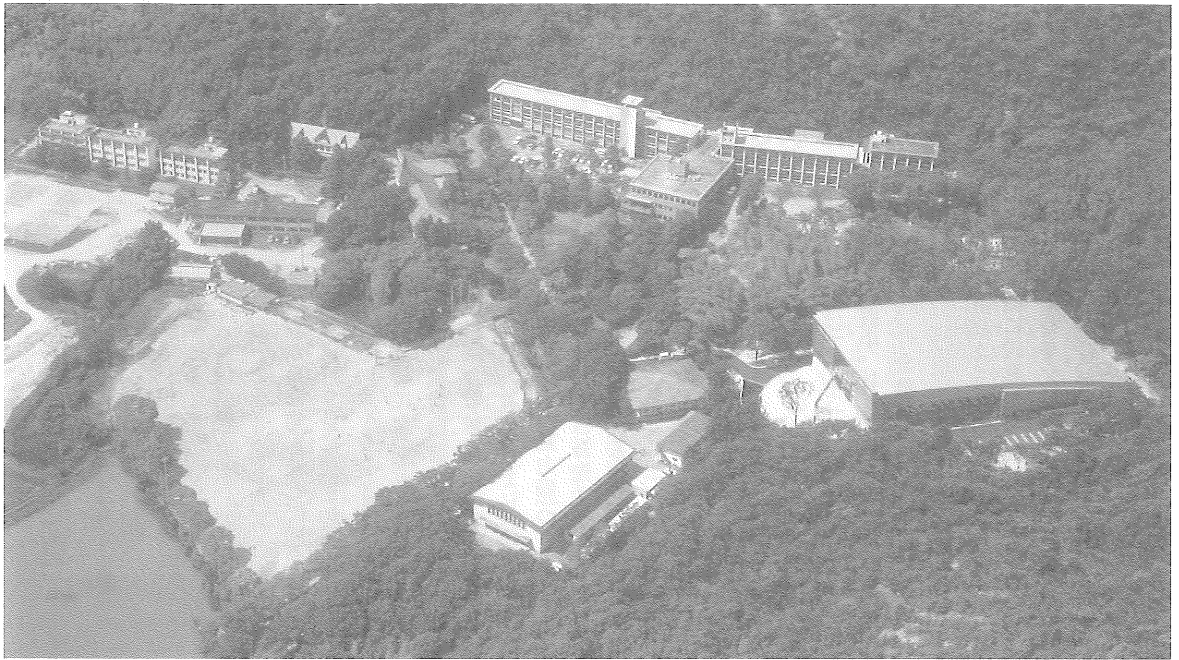


祝 学園創立40周年



播州に白陵あり

今年、サッカーワールドカップが日韓合同で華々しく開催された。その中で、白陵はめでたく創立40周年を迎えた。白陵が誕生したのは昭和38年、翌年には東京オリンピックが開かれた頃だった。この40年間、高度経済成長、オイルショック、バブル、バブル崩壊、大不況と世の中は移り変わっていった。総理大臣は一体何人入れ替わったことが正解することは難しい。

今は亡き園長先生にしがかれた詰襟服に丸坊主の前途有為な若者達も今や人生半ばの働き盛りを迎えている。創設期の頃を振り返ってみると、学校が5日制になったり、中高生がケータイやパソコン、インターネットを当たり前に使ったり、ソ連が崩壊したり、神戸で大震災が起こったり、ニューヨークでテロが起こったり、イチローが大リーグで首位打者になったり、大企業が倒産し、大手都市銀行が合併したりすることになるとは誰一人予想だにできなかった。白陵でも、まさかあのバイタリティーと情熱に溢れた学園創設者の園長先生が52歳の若さで急逝されるとは、岡山に姉妹校ができればよいとは、山本寛齋の制服になろうとは、修学旅行がロンドンになろうとは、全国有数の東大進学校になろうとは、驚くばかりである。

白陵の驚愕すべき発展の軌跡は、関係者各位の涙ぐましい努力の積み重ねの賜物である。これからも、建学の精神に則り、生徒の心身を鍛え、更なる幸福をもたらしていただきたい。旧制姫路高等学校の遺髪を受け継ぐ白陵という校名は、この40年間で広く全国に知られたところではあるが、これからは、世間の風潮がより軟弱な加減なものになっていくことが予想されるだけに、「播州に白陵あり」の気概を持つことが肝要である。



理想に勝つためには現場で克て！ — 創立40周年のご挨拶にかえて —

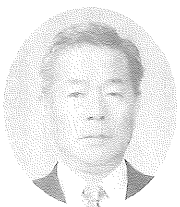
理事長 三木 一正

いつも乍ら、この時期になると私の関西空港詣りが始まります。それも今年は例年より一回多い五回です。白陵 岡山白陵の高校二年生、ロンドンとその郊外修学旅行団の送迎です。あと二回は今年から行き先変更の白陵中学三年生の東北、北海道修学旅行団の出迎えです。加えて昨秋のアメリカにおける同時多発テロの影響で海外旅行の安全に対する保護者の心理的不安を取り除くため、事前に関空からヒースロ

ー空港へと飛びたち、行き先の治安調査、安全確認と相成りました。ところが世間は狭いとはよく言ったもので、ロンドンの日本大使館の手摺りはさんだ昇り階段を上がるうとした時、降り階段を降りようとしていた青年に三木先生と違いますか？と声をかけられたのです。振り向きざま「あそうですが？？」といぶかしげな表情の私に、彼は「白陵13回の置塩です」と名乗ってくれたのです。お母さんが育友会のお世話をしてくださっていたので、瞬間それを思い出し「ああ置塩君・・・」と言って慌たたく言葉を交わしました。見ると奥さんと二人の娘さんが一緒で、こちらを向いてこやかに会釈をしてくださったのです。遠く離れた彼方の地で、偶然とはいえ、ヨーロッパの現地法人で活躍中の白陵の卒業生に会

えたことは感激でしたし、白陵の歴史を感じた瞬間でもありました。以前からお知らせしているように、今秋、白陵は11月9日に創立40周年を迎えます。同窓会もいまや6253名の卒業生を抱える大世帯になってきました。この五月には姫路市職員白陵会の、六月には兵庫県職員白陵会の会合に招かれて楽しい時刻を過ごさせていただきました。同窓会の結束は学園躍進の原動力の一つと考えています。創設者三木省吾先生が亡くなられて九年、常に向上心を持って職員、生徒、丸となつて前進をめざしてはいますが、現実には厳しく、今年も「創立40周年に東大40名」の目標を大きく下回つてしまいました。世間で白陵はよく頑張っている、との声もありますが、このままではまだまだ胸を張ることはできません。私学は今少子化加速の真っ直中。甘々としたことは言っていられませんが、今全職員への掛け声は「理想に勝つためには現場で克て！」です。

40周年を飾りあるものにするため、これを機に鋭意努力して参りますので、今後ともよろしく母校白陵へのご協力の程お願い申し上げます。併せて諸兄諸姉のご健勝をお祈り申し上げます。



ごあいさつ

校長 浅江 季典

白陵会会員の皆様には益々御清栄のことと拝察しお慶び申し上げます。皆様の母校白陵高等学校は、昭和38年に高砂市阿弥陀町に呱呱の声をあげて以来、嘗々と歴史を刻み続け、今年で「不惑の年」を迎えることとなりました。真に「同慶の至り」でございます。この白陵高等学校40周年の記念行事を来る11月9日を中心に展開する予定になっております。この記念行事の概要であります。11月9日、40周年記念式典を学校内外からお客様をお招きして、昨年度に白陵会会員の御協力も得て完成しました記念棟で開催する予定になっております。また、11月11日には大阪フィル交響楽団による記念演奏会、その他白陵高等学校の40周年を祝い、更に飛躍することを祈念しての様々行事を企画しております。白陵会会員各位におかれてはご多忙のことと存じますが、これを機会に是非一度母校を訪れ、後輩達にも一言激励の言葉をかけてくださるようお願いいたします。

白陵高等学校の現況であります。平成14年3月の入試状況は東京大29名、京都大23名、大阪大33名、医学部公併せて44名等の結果であり、地域社会において期待される学校としての地位を着々と固めつつあります。また、クラブ活動においても江里口君(高校3年)が県高校総体柔道大会において史上初めての三連覇を成し遂げ新聞で大きく報道されました。これに加えて、梅谷君(高校2年)がスケート競技において、第61回国民体育大会強化選手指定を県知事から受けるなど、スポーツ部門でも全国レベルの実力を習得した選手がでるなど皆様の後輩達も頑張っています。

40周年を機に心身ともに健康で、知、徳、体を兼ね備えた人材の育成に今後とも教職員、丸となって努めて参りたいと考えています。どうか従前と同様の御支援をお願いして、御挨拶にかえたいと存じます。



創立40周年を祝す

白陵会会長 沼田 好道

あゝ白陵の春の宵
惜春の譜の流れ来て
寮の灯びおののげば

さびれを慕ふ男の子等が
若き血潮おどるかな

第1回の入学式から40年を経て、1期生は55歳、三木省吾園長先生の太く短い生涯が52歳だったことを思えば、現在、3期生までは既にその年齢を超え、4期生5期生・・・と今後も増えていく一方、まさに光陰矢の如しであります。

同窓生の皆さん、あなたにとって白陵高校で過ごした3年間はいかがでしたか。入学試験に合格したときの喜び、デコレーションで盛り上がった運動会、旅情を楽しんだ修学旅行、点数に一喜一憂した定期考査、食欲を満たしてくれた食堂のうどんやそばや定食の味、男所帯の寮生活、曾根駅からの通学路、短い時間で精一杯頑張った部活動、しわのよった制服や校章を露わにして被らされた制帽、弁当とプリントの匂いのしみ込んだ重たい鞆、大学の開放感への強い憧れ、・・・数々の思い出が甦ってくると思います。

を与え続けてくれました。
高校時代の様々な経験は、今、私たちの大きな財産となっています。

故園長先生がこの同窓会報の創刊号に寄せていただいた「同窓会の皆さんへ」の一文の中にこんな節があります。

「今、自分の人生の中で、多少かげりのある時期にある人も、逆に高揚の頂点におられる人も、これは長い人生の1時期に過ぎないと観じて、新しい目標に向かつて一歩一歩真摯に生きていこうではありませんか。人生は他人から教えられることの方が遙かに多い。良き先輩を持ち、また良き後輩に恵まれる。これが白陵の同窓会の特色でありましょう。どうか、卒業生の皆さんが相寄り、相助け合って、各地域、各職域に支部を作り、それが枝葉となり、根を張り、幹を太らせて、白陵という巨木が末永く聳えることを心から願っております。」

白陵創設者としての自信と恩師としての愛情に満ちた私たちへの激励の言葉です。

創立40周年を祝し、母校のいやさかを祈念申し上げますと共に、会員の皆様方ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成14年 大学入学試験合格者数

国公立大学				
大学名	12年	13年	14年	
東京大	34	22	29	
京都大	22	18	23	
大阪大	15	19	33	
神戸大	12	21	11	
北海道大	4	3	3	
東北大		4	2	
一橋大	2		7	
筑波大	4	3	1	
東京工業大	1	4	2	
横浜国大	3	3	2	
岡山大大	1	3	6	
広島大大		1	2	
九州大大	2	2	2	
大阪市大大	4	5	1	
大阪府大大	7	2	5	
その他	38	32	40	
合格者計	149	142	169	
(内医学部)	(20)	(27)	(23)	

私立大学				
大学名	12年	13年	14年	
早稲田大	24	21	31	
慶応大	23	19	37	
上智大	1	1	1	
中央大	2	2	5	
東京理大	4	6	9	
関西学院大	21	17	34	
関西大	11	11	5	
同志社大	23	23	20	
立命館大	13	21	20	
近畿大	2	2	3	
大阪医大	2	1	5	
兵庫医大	3	6	6	
京都薬大	5	3	2	
神戸薬大	4		3	
その他	22	30	28	
合格者計	160	163	209	
(内医学部)	(9)	(13)	(21)	
卒業生数	183	192	183	

2003年白陵会名簿発行予定

白陵会名簿発行、来年に迫る

前回、平成9年度の発行から早5年が経ち、白陵会名簿発行の時期が近づいてきました。名簿発行委員会を中心に企画編集作業を進めてまいります。会員の皆様方一人、お一人のご協力なくしては名簿発行という大事業は成り立ちません。

来年には、現在登録されているデータを印字した連絡カードをお手許にお送りし、変更箇所のご訂正と名簿購入予約を承る予定でございます。その節には何分よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。また、名簿発行に際し、従来通り、会員の皆様方から広告を募集させていただきますので、こちらの方もよろしく願います。同窓会名簿は、同期のみならず、同窓の先輩後輩の所在を知る上で同窓会活動の原点となる貴重な資料です。従前に増して皆様の絶大なご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、白陵会が発行するこの公式な名簿の事前調査は、必ず、連絡カードによる往復、文書で行い、カードの返信先は白陵高等学校の住所宛となっております。営利目的で全国展開している名簿発行業者や同窓会担当者を装っての偽の調査電話等には呉々もご用心ください。

白陵会役員名簿

平成14年7月6日現在

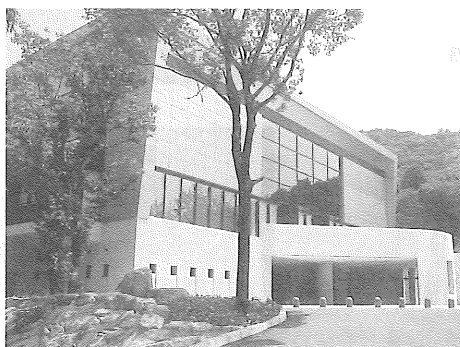
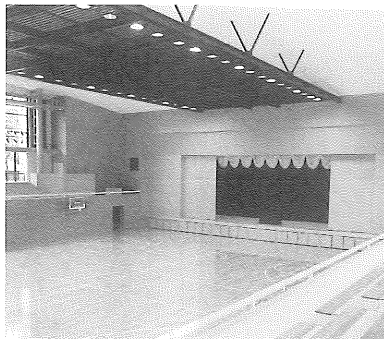
役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事	12	吉野 太司	常任幹事	34	牧野 琢丸
副会長	3	天野 泰文	〃	13	水田 堅	〃	35	石川 美帆
〃	6	上田 喜裕	〃	13	矢野 善人	〃	35	阪本 寛
〃	10	吉田 達哉	〃	14	片山 安孝	〃	36	内田 理恵
理事(校内幹事総代)	2	川副 義文	〃	16	田中 正一	〃	36	杉岡 央基
〃(総務委員長)	2	湖中 明憲	〃	18	秋田 直樹	〃	37	伊賀真紀子
〃(研レ委員長)	3	神吉 裕資	〃	19	牛尾 英樹	〃	37	亀山 信生
〃(研レ副委員長)	4	森崎 晴知	〃	21	河合 恵介	校内幹事	1	芳木 健憲
〃(広報委員長)	10	下村 康夫	〃	22	新田 智弘	〃	2	大内 義博
〃(広報副委員長)	11	志方 正彦	〃	22	野津 康弘	〃	3	長濱 憲雄
〃(会計)	10	加藤 雅宣	〃	23	三木 健史	〃	3	黒田 洋
〃(総務)	9	村角 伸一	〃	23	中里 寛	〃	4	原田 正和
〃(広報)	19	尾上 尚樹	〃	24	奥本 光廣	〃	6	福井 孝昌
〃(総務)	20	石井 秀武	〃	24	藤原 省悟	〃	11	小紫 一貴
書記	17	岡野 清和	〃	25	多根 正明	〃	11	宮崎陽太郎
会計監査	6	大崎 章快	〃	27	山田 将義	〃	12	畔上 昇
〃	15	町田 直隆	〃	28	柿本 晴彦	〃	12	山口 透
常任幹事	1	伊藤 達也	〃	28	松本 守弘	〃	12	中村 大吾
〃	1	芝本真須美	〃	29	川田 雅彦	〃	14	久保 博彦
〃	1	武田久美子	〃	29	長濱 道治	〃	15	村上 幸生
〃	1	正井 和野	〃	30	上新 貴弘	〃	15	西 善弘
〃	4	岸本 和男	〃	31	酒井 雅史	〃		
〃	5	塩崎 育男	〃	31	木下 智晴	顧問(理事長)		三木 一正
〃	5	橋本 義仁	〃	32	酒井 勇人	〃(校長)		浅江 季典
〃	7	萩本 義郎	〃	32	伊賀有紀子	〃(教頭)		中安 久隆
〃	8	山戸 敏彦	〃	33	藤井 拓郎	〃	1	遠山 寛
〃	8	黒川 仁	〃	33	魚橋由美子	〃	1	黒坂 康夫
〃	9	鄭 幸男	〃	34	八尾 晋典	〃	1	黒川 芳一

※現在、26期の常任幹事が前任者の都合により空席となっております。後任に心当たりのある会員はご一報下さい。

40周年記念棟建設に

一〇〇〇万円寄付

学校法人三木学園が、創立40周年を記念して総工費10億円をかけて建築したスポーツ・芸術文化の殿堂たるアカデミックな建物が、40周年を迎えた今日、大きな注目を集めています。平成13年5月1日に竣工したこの40周年メモリアルホール（記念棟）と名付けられた威風堂々たる建造物の詳細につきましては、前号でお知らせした通りですが、母校のこの創立40周年記念事業に対し、白陵会では昨年、1口1万円にて会員の皆様方から広く寄付金を募集させていただきました。

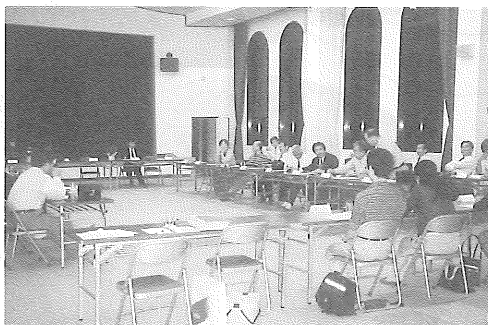


その結果、約300名の会員より総額860万円余の寄付をお寄せいただきました。母校支援事業にご協賛賜り誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。白陵会では、会員よりお寄せいただいた寄付金に本部会計拠出金1140万円を加えた総額2000万円を昨年11月30日、沼田好道会長より三木一正理事長へ贈呈させていただきました。

会員の皆様方も、母校訪問の節にはぜひ一度お訪ねください。

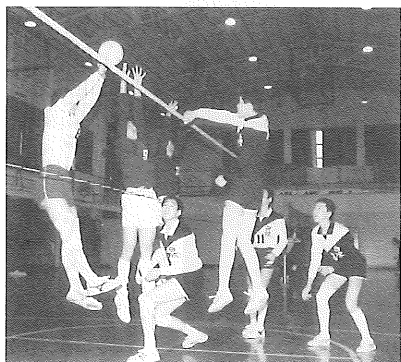
クラブOB会活動費助成金交付制度発足

役員会風景



白陵会ではこの度、白陵高等学校の卒業生で組織するクラブのOB会の充実振興を図るため交付要件を満たしているクラブOB会に対して、1団体につき年額3万円の活動助成金を交付することといたしました。

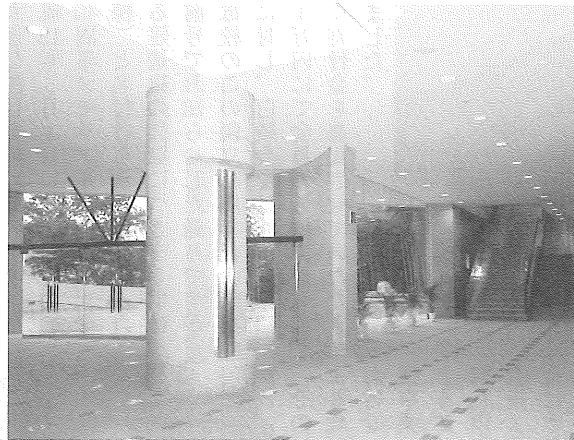
交付要件は、会員数20名以上、規約が整備されていること、会員から徴収する会費によって運営されていること、全体会合を年1回以上開催していること、白陵会本部の指示を遵守し連携に努めていることの5項目です。この助成金は通信費の補助程度のものでしかありませんが、助成対象に決定している柔道部OB会、野球部OB会、バレーボール部OB会、剣道部OB会、りようゆう会の5団体からは大変喜んでもらっております。これを機に各OB会の活動に一層拍車がかかることを期待しております。



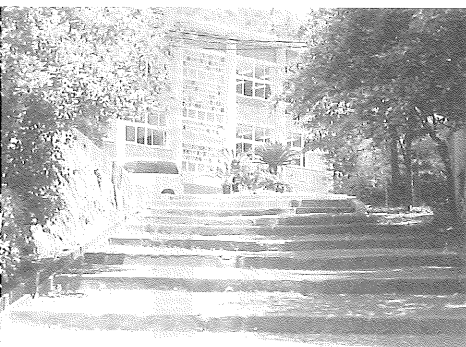
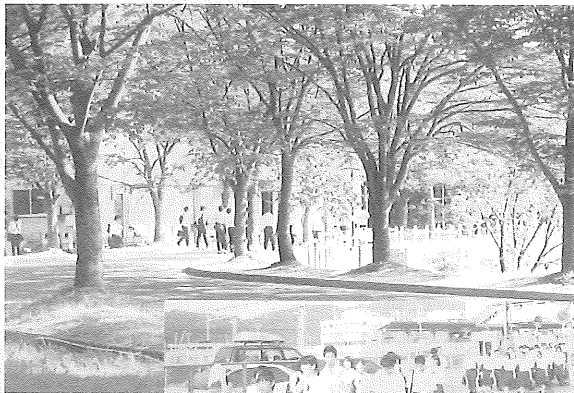
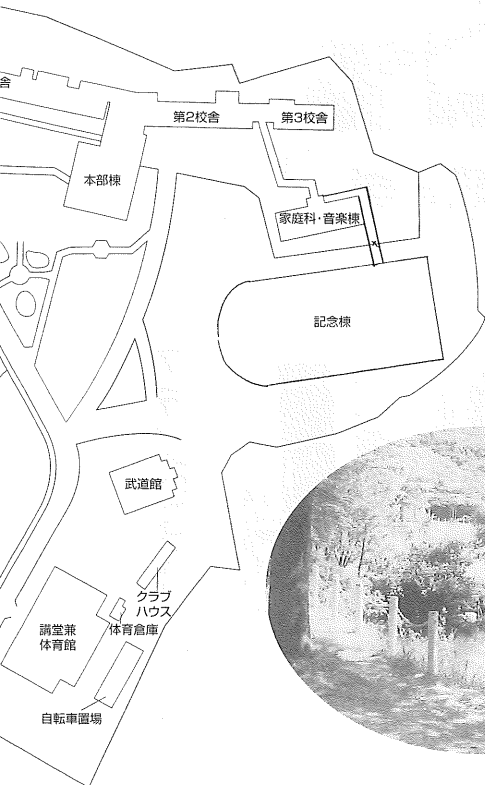
え！あそこか！



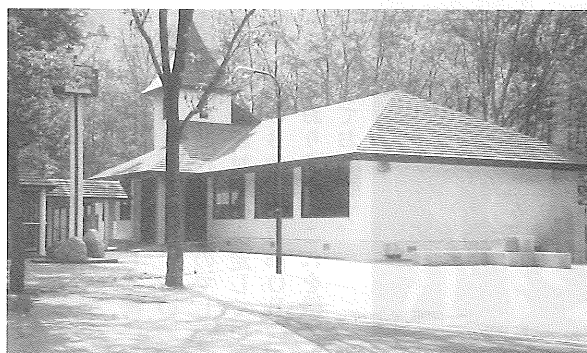
第2・第3校舎



記念棟玄関



寮生通学路



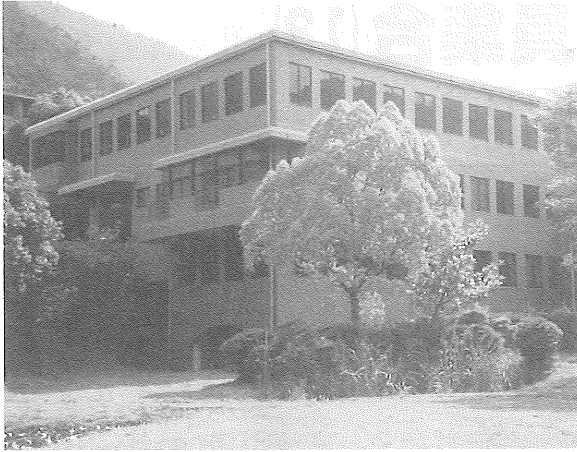
家庭科・音楽棟

白陵今昔物語 (16)

創立40周年記念特集 「発展していく母校近影」

懐かしい母校の配置図と写真を列べました。在学当時を思い出してキャンパスの散策をしてみてください。

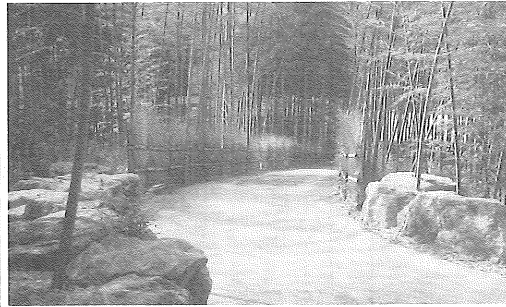
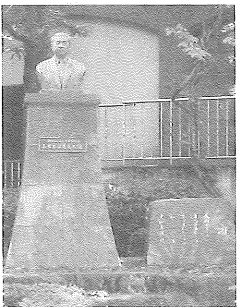
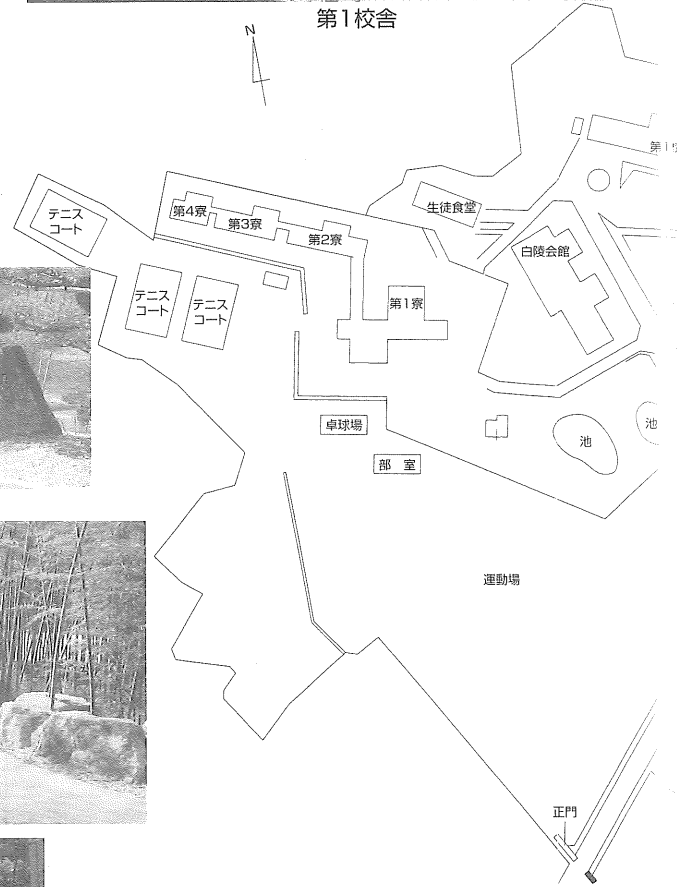
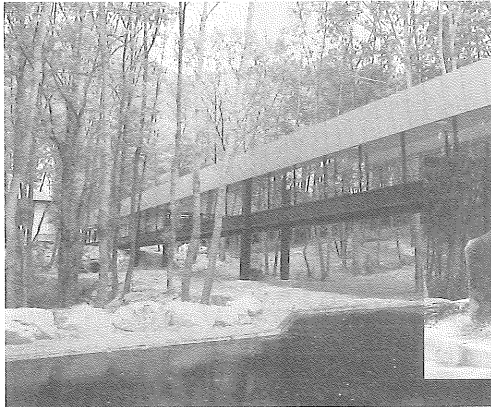
ここは何処の写真？



本部棟



第1校舎



生徒食堂



第1寮

白陵軍団全員集合(13)

～ 白陵剣道部OB会 ～

「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」これは全日本剣道連盟が制定した剣道の理念です。白陵剣道部OB会は、この剣道の理念にのっとり、剣道部の運営の補助や会員相互の親睦、情報交換を目的に平成八年に発足しました。現在も剣道を続けている人、しばらく遠ざかっている人、または全く



忘れてしまった人も、同じ白陵剣道部に在籍していたという縁で一期生から三十七期生まで会員数は百二十名以上になりました。

もっとも大きな行事として、「鍛えたるDAY」が有ります。第一回から第三回までは毎年七月二十日の海の日に行っていましたが、夏の補習授業と重

なり、今年からは三月の春分の日になりました。現役の剣道部を強くすると同時に、現役とOBとの交流を目的に開催しておりますが、OBの中で現在も稽古を続けている人が少なく、また現役諸君の数が年々増えているため、どちらが鍛えられているのか(?)という感も有ります。ただ、今年三月の「鍛えたるDAY」は、創部当時からお世話になった藤田先生が、定年退職されるといふこともあり、多くのOBが集まり、卒業間もない若手OBも多数参加して非常に盛り上がりました。

今回は場所が新体育館のステージというところで、狭いのではないかと不安もあったのですが、使ってみて、旧体育館がすっぽり収まるほどのステージの広さに驚き、大きな窓ガラス越しに見える木々の風景に心が和み、のびのびと稽古ができました。稽古には創部当時から指導していただいた谷川先生(教士七段、八十四才)が、わざわざ滋賀県からお越しになり、稽古を見てくださいました。OBの中には高校教員の池田先輩兄弟(ともに教士七

段)から、三十六期生(十九才)の若手OBまで参加し、現役の生徒には良い刺激になったと思います。同時に、私たちOBにとっても、中学、高校時代の稽古が非常に懐かしく思い出され、有意義な稽古会になりました。また、退職される藤田先生にはOB会から感

謝の気持ちを含めて記念のトロフィーをお贈りし、現役の生徒には谷川先生揮毫入りの手拭いを全員に贈りました。私たちの時より中学生や女子の部員が増え、厳しさの中にも明るさを感じられ、またこれほど広くて良い環境で稽古ができる生徒をうらやましくも思えました。そして、この大所帯の剣道部をまとめる顧問の北尾先生には、指導上のご苦労やOB会との連携などお世話になり、この場を借り感謝を申し上げます。

剣道部OB会の行事としては、他に総会、新年会、忘年会など、また他のクラブOBとの対抗ゴルフコンペとしてライダースカップを年二回、持ち回りで開催しています。

白陵の卒業生も、三十七期生にまで増え、現在は社会的にも重要なポジションに着いている人が多くいます。若手OBやこれから社会に出発する生徒にとっても、また壮年のOBにとっても、白陵の歴史と伝統を守り、その上で自分自身の生き方を良い方向に持っていくためにも、こういうOB会に積極的に参加し、縦のつながりを大事にしたいのだと思います。

自分が卒業した白陵として誇りを持ちながら、母校の益々の発展を祈ります。

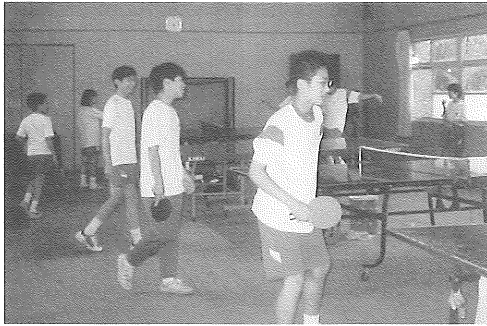
(十期生 天野 宏)

在 校 生 ク ラ ブ 活 動 紹 介

卓球部

『卓球部の今』（部員約50人）

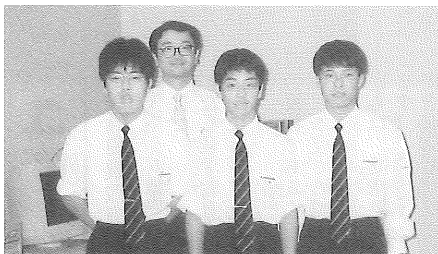
キャプテン 杉岡弘庸



僕達私達白陵卓球部は、副キャプテン平林康弘君を中心に時に楽しく一生懸命に練習に励んでいます。ここ数年で卓球部のレベルは急上昇しています。中学部では、今の高一と中三の代で3人の市内優勝者と2人の県大会出場者を出しています。高校部では、実に10年振りという東播大会ベスト4入りを果たしました。表彰状も最近2、3年で20枚くらいゲットしました。最近のレベルアップは、熱心に御指導くださった現在の御卒業なさっている先輩方や、伝説のカットマン小谷満先生御健在のおかげです。また、中学部と高校部がいっしょに練習していることが、功を奏していると思います。でも、こんな卓球部にも悩みがあります。それは、高二高三の先輩が少ないことです。副キャプテンの平林康弘君が一生懸命

頑張っていますけど、なかなかまとまらないうことがよくあります。それでも、中学部が多く自由で元気なクラブだと思えます。熱心な中一の子達も入ってきて、かなり元気を増してきています。これからも卓球部はより一層がんばりますので、どうか応援して下さい。

CCC



Computer Programming Circleの部室は白陵寮の第二寮の1階にあり、かなり狭い一室に通常、部員十数名とコンピュータ7台が詰め込まれています。コンピュータは10年以上前に発売された最新鋭機で、最新のWindowsどころか、最古のWindows 3.1でさえ動きません。そうです。真っ黒画面に文字が表示される「DOS」がメインなのです。DOS上のBASICやCでのプログラミングを極めようというのが部の主な活動でした。長年、劣悪な環境でどうやったら計算が速くなるかを追求してきました。歴代の部員はこのような環境でも動く、さまざまな楽しいゲームを開発してきました。こんな環境だからこそ、なのでしようか。現高3の部員3人は、昨年、東工大で開催された通称、電腦甲子園「Super Con 2001」において特別賞を受賞しました。この大会は研究用の超並列スーパーコンピュータを使って課題を解く速さを競うものです。今年は3チームが予選に出場する予定です。本戦での活躍に期待できます。このような大会ではプログラミングするだけではなく、数学の広範囲な知識や最先端の科学の考え方が必要です。CCCは、関係のある学問は何でもやる、関係なくても面白そうな分野なら勉強しようということで、一昨年からゼミを始めました。昨年は「グラフ理論」「整教論」「解析力学」を輪講し、今年は「線形代数」「Complex Analysis」を輪講しています。高校生部員が中学生部員が中学生部員に必要な微積分

大会開催年月	大会名・順位等
H.10.7	Super Con 1998予選 (参考出場)
H.11.7	Super Con 1999予選 (参考出場)
H.12.7	Super Con 2000予選敗退
H.13.7	Super Con 2001予選通過
H.13.8	Super Con 2001本戦4位、特別賞

や数列を講義するという活動も始まりました。初学者がCを学んでいくことに加え、大学、大学院程度の進んだ数学や物理を学んでいく活動を自在に展開していこうと考えています。

■部員数
 中学：男子11人、
 高校：男子8人・女子2人

■顧問教員
 廣瀬雅人・南坂繁先生

■部長
 中学3年1組 池田光平
 中学3年1組 松田直樹(副)

白陵会 平成13年度決算報告書
平成13年4月1日～平成14年3月31日

支出の部

科目	予算額	決算額	差異
事務費支出	100,000	60,839	39,161
消耗品費	20,000	0	20,000
印刷費	20,000	0	20,000
通信費	50,000	23,559	26,441
支払手数料	5,000	32,030	△27,030
雑費	5,000	5,250	△250
会議費支出	400,000	174,193	225,807
理事会費	100,000	53,400	46,600
役員会費	200,000	106,475	93,525
委員会費	100,000	14,318	85,682
事業費支出	1,350,000	1,223,230	126,770
総会費	0	0	0
名簿発行費	50,000	9,082	40,918
会報発行費	1,000,000	947,375	52,625
卒業記念品費	200,000	199,500	500
慶弔費	100,000	67,273	32,727
40周年記念棟寄付金支出	20,000,000	20,000,000	0
備品費支出	0	0	0
渉外費支出	50,000	0	50,000
予備費支出	500,000	0	500,000
小計	22,400,000	21,458,262	941,738
総会積立金	250,000	250,000	0
次年度繰越金	9,419,272	10,526,492	△1,107,220
合計	32,069,272	32,234,754	△165,482

収入の部

科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	25,264,272	25,264,272	0
会費収入	2,775,000	2,745,000	30,000
終身会費	2,775,000	2,745,000	30,000
臨時会費	0	0	0
総会費	0	0	0
40周年記念棟寄付金収入	4,000,000	4,199,816	△199,816
会費外収入	30,000	25,666	4,334
名簿収入	10,000	14,800	△4,800
広告収入	0	0	0
利息収入	20,000	10,866	9,134
雑収入	0	0	0
総会積立金繰入収入	0	0	0
合計	32,069,272	32,234,754	△165,482

白陵会 平成13年度 会務報告

年月日	内容	年月日	内容
13.5.1	記念棟竣工式	13.9.15	白陵運動会
6.9	広報委員会	10.16	理事会
6.13	理事会	11.30	役員会
6.23	定例役員会	14.2.10	37期生卒業式
7.20	会報21号発行		

白陵会 ニュース

★藤田家将先生が兵庫県教育功労賞を受賞
五月に藤田家将先生が兵庫県から「県教育功労賞」に選ばれました。
先生の長年にわたる私学教育への功労が認められたもので、白陵にとっても大変うれしい出来事でした。

先生は、白陵の校技である柔道の定着と発展に大きく貢献され、本校での授業や部活動の指導は勿論、兵庫県柔道界の発展にも大きく寄与され1997年からは、兵庫県柔道連盟の会長も務められています。
白陵では、生徒指導部長、高校部長の要職を務められた後、現在も参事として、教職員や生徒の指導にあたっておられます。
白陵会ではこの慶事に心ばかりのお祝いをさせていただきます。

★平成13年度退職教職員紹介

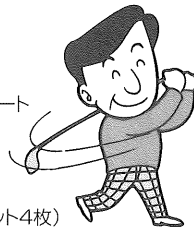
白陵会 物故者	(心よりご冥福をお祈りします。)
・板垣鑑昭氏	3期生 平成13年11月逝去
・清水徹氏	14期生 平成13年11月逝去
・山野顕氏	25期生 平成13年12月逝去
・森本崇靖氏	22期生 平成14年1月逝去
・橘明氏	13期生 平成14年7月逝去

・藤田嘉久先生 (英語)	昭和40年	37年間
・高山 擴先生 (国語)	昭和41年	36年間
・吉田順一先生 (理科)	平成10年	4年間
・平田祐介先生 (社会)	平成12年	2年間
・真弓寛文先生 (社会)	平成12年	2年間
・和木孝予先生 (家庭科)	平成9年	5年間
・岡崎徹之事務員 (事務)	平成3年	11年間
・近田 緯寮監 (図書)	平成5年	9年間
・浅野 喬事務員 (校務)	平成5年	9年間
・星住 格校務員 (校務)	平成8年10月	5年6ヶ月
・岩田賢一先生 (体育)	平成13年	1年間

第9回りょうゆう会ゴルフコンペ開催のご案内

今回から白陵会の行事となりました。
多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時:平成14年10月27日(日)
午前8:00集合 午前8:42スタート
- 会 場:福岡東洋ゴルフ倶楽部
神崎郡福岡町西治2110-1
TEL 0790-22-1248
- 費 用:20,000円
(プレー代:昼食代:ドリンクチケット4枚)
6,000円(会食代:賞品代:その他)
- 申 込:①ホームページ
http://members.tripod.co.jp/sonny_/ryoyukai.html
②メール n-onoe@nifty.ne.jp
③FAX 昭和住宅(株) 0794-25-7555
- 問合せ:村角伸一 (9期) 090-8655-3388
田中 茂 (9期) 090-3494-8229
尾上尚樹 (19期) 090-2595-0665



編集後記

今回は40周年記念号として編集し、懐かしい母校の近況を出来るだけわかりやすくお伝えしたいと思ひ、写真点数を増やしてお届けしました。
また、40周年記念事業への寄付金贈呈やクラブOB会活動費助成金制度発足、来年に迫った名簿発行のことなど会からの連絡も盛りだくさんとなりました。
景気低迷、政治経済も暗いニュースばかりで、明るく楽しい話題が少ない昨今ですが、会員諸氏におかれましては、年々発展していく元気な母校を励みとして、今こそ「白陵精神」を発揮し、次の段階へのステップとして力を蓄えながらご活躍されますようお祈りします。